

浜松市立葵が丘小学校長 岡田 芳樹

本校の学区は航空自衛隊浜松基地の北側にあり、戦後に区画整理等の土地整備が進みました。道路には街路樹が植えられ、公園も整備されたため、住宅は増えていきました。また東名高速道路の浜松西インターが近いこともあり、大きな工場がいくつもできていきました。人口の増加に伴い子供の数も増え、本校は昭和37年4月に開校しました。今年度はちょうど開校60周年を迎えています。

学校教育目標「未来にかがやく！あおいっ子」

学校教育目標につながる「葵っ子宣言」

- だれとでも、明るく心のこもったあいさつをします。
- 人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にします。
- 強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組みます。

開校50周年のとき、当時の子供たちとともに「葵っ子宣言」を制定しました。これは現在でも毎週月曜日の朝に放送を通じて全員で唱えています。（新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年度からは放送委員が読み上げ、それをみんなで聞くようにしています。）始業式や朝会での校長の話、あるいは児童会行事や運動会などの学校行事でも、この葵っ子宣言に触れ、有言実行できるよう呼び掛け、教師も子供も意識しています。

また、学校経営目標として「ていねい あったか あんしん」を掲げています。教師が一人一人の子供や保護者に寄り添い、丁寧に温かく接し、指導を進めることを心掛けています。

昭和63年には幼児の言語通級指導教室、平成2年には児童の言語通級指導教室が開設されました。近隣の9つの小学校区に住む子供たちを対象として、現在は幼児2学級、児童2学級で指導を進めています。指導だけでなく、近年は相談依頼が増えています。幼稚園や保育園、こども園等との連携を深める中で、心配事を抱えている保護者が本校の通級指導教室とつながり、相談のために来校される方が増えているのです。場合によっては継続相談となったり、入級へとつながったりすることもあります。

もちろん、本校の通常学級に在籍する子供の指導も行いますし、相談にも応じています。本校の児童の場合は、教室での授業の様子や休み時間の様子、学習状況や友達とのかかわり方を見ることで、その後の指導に生かすことができます。また、学級担任との情報交換、アドバイスもできるため、その子だけでなく、担任にとっても通級指導教室とその担当教員は頼もしい存在となっています。

他校や園から通う子供たちに対しては、学期に1回ずつではありますが、在籍校（園）訪問を行い、子供の様子を見たり、教員との情報交換を行ったりしています。

また、幼児の指導に当たっては、小学校入学後を見据え、長期的視野に立った指導を心掛けています。

このように、校内・校外といった横のつながりと一人一人の成長を見据えた縦のつながりを大切にしながら指導を進めています。

<教室紹介>

昭和63年5月1日に「幼児言語学級」が併設された後、平成2年4月1日に「ことばの教室」が新設されました。プレイルームをはさんで、東側に幼児の教室、西側に児童の教室が、それぞれ2教室ずつあり、4名の担当で指導にあたっています。今年度のスタート時は、児童28人、幼12人、計40人（継続相談の児童・園児を含む）の子が通っています。言葉の遅れや吃音が気になる場合、発音に誤りがある場合等、障害の種類も様々なので、指導法も多様になります。難しさを実感していますが、成功体験を子供たちと一緒に味わいながら頑張っています。



【プレイルーム】

体を動かしたり、ゲームをしたりできる教室です。このプレイルームで、少人数のグループ活動も行っています。広いスペースで、保護者の方も、子供と一緒に活動を楽しみます。



【指導教室】

子供と向き合って、1対1の指導をしています。会話の良さや楽しさをたくさん味わうことができるように、1回1回の指導の時間を大切にしています。リラックスした雰囲気の中で、自分らしさを発揮できるように環境を整えています。

<教材紹介>



口腔機能を高めるための工夫

舌の動きが分かる模型を見せることで、構音位置や舌の動きを視覚的に捉えさせていきます。

風車を回すゲームを楽しみながら、息をまっすぐ出して吹くということを実感していきます。



ス音の練習

「スー」と言いながらひもを引っ張ります。繰り返し練習できるので、成果も上がります。

操作しながら発音しているため、子供たちは、舌に余計な力が入りにくくなっていきます。



連続音の練習

発音練習は、どうしても単調になりがちなので、速さや大きさを変えるなど変化を持たせています。

音楽の得意な子には、音符を示しながら、リズムに合わせて発音練習するのも効果的です。



プレイルームの活用

体全体、心もリラックスすることで、舌の力も抜けていきます。プレイルームという広い空間で、いっぱい手や体を使うことは、脳全体の発達にも良いことと考えています。

